

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年4月10日

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C		
横断的な課題	「地方回帰」の流れを捉えた新たな暮らし方・働き方の提案による移住定住の推進・地域人材の確保						
地域重点政策	4 北アルプス地域を選び、生き生きと活動できる地域づくり					北アルプス地域振興局	
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	企画振興課	農業農村支援センター
事業名	北アルプス地域「農ある暮らし」推進事業			電話	0261-23-6501	0261-23-6510	
				E-mail	kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	kita-aec@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	「田舎暮らし」や、「農ある暮らし」への志向が高まる中、農に関心を持つ移住希望者等や定年帰農者等地域住民の「農ある暮らし」をサポートし、こうした取組を北アルプス地域の魅力として情報発信することで、移住者など地域に人を呼び込むことを目指す。 また、取組の中心として農産物直売所を活用することで、直売所の活性化や地消地産の推進を図る。					
	現状と課題	[現状] ・「地方回帰」の流れによる都市住民の田舎暮らし、農ある暮らし志向の高まり [課題] ・長野県の中で移住者からいかに「北アルプス地域」が選ばれるか ・「農」を求める人々をどう取り込み、どう支援するのか					
	内容 (変更後の内容)	* 県とJAの協定に基づく取組として、県現地機関と大北農業協同組合で連携して実施 ○農ある暮らしサポート直売所設置事業 実施場所: JA大北農産物直売所「ええこの里」 ①栽培技術等に関するサポート(随時相談対応) ②季節の野菜等を活用したミニセミナーの開催(5月、12月、3月) ③移住・観光情報の提供(北アルプス地域移住・観光インフォメーション) ○農ある暮らし事例紹介動画作成事業 当地域で実践できる魅力ある「農ある暮らし」を動画(YOUTUBE)で発信する。 白馬村編、大町市編 発信方法: 局HP掲載及びプレスリリース、楽園信州HP掲載、楽園信州SNSでの周知 等					
	事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	農ある暮らしサポート直売所設置事業	サポート直売所の設置	145,200				
	農ある暮らし事例紹介動画作成事業	事例紹介動画の作成	267,050				
	合 計		412,250				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	圏域移住パンフレット持ち帰り数		150	180	○ 達成		
	アンケート結果 ミニセミナー満足度(5段階中4以上)		回答者の1/2以上	100%	● 一部達成		
	サポート(相談対応)年間件数		20	9	○ 未達成		
	事例紹介動画視聴回数		400回以上	454回			
事業実績・成果	○農ある暮らしサポート直売所設置事業 ①栽培技術等に関するサポート(随時相談対応) 相談件数9件(昨年度9件) ②季節の野菜等を活用したミニセミナーの開催 5月:しいたけコマ打ち体験(10名)、12月:食育パンフ配布、3月:ひまわりのセルトレイ栽培(3名) ③移住・観光情報の提供(北アルプス地域移住・観光インフォメーション) 立ち寄る来客数は増加傾向。 ○農ある暮らし事例紹介動画作成事業 Youtubeに投稿し、地域振興局HPほかSNS等で周知。移住相談会で流したり、新聞に取り上げてもらうなど、PRを展開した。 白馬村編...人や環境に優しい農ライフを送る移住者等の紹介(R4.9.28公開) 大町市編...ふたえ市民農園で気軽に楽しむ農ライフを紹介(R5.3.20公開)						
今後の方向性	・農ある暮らしサポート直売所設置事業 コロナ禍の終息によりサポート相談やミニセミナーの利用が進むよう、周知に力を入れていく。 ・農ある暮らし事例紹介動画作成事業 5市町村の動画が揃ったため、相談会等で活用するほか、関心のある方に知ってもらえるようPRを行う。						